

ため池ハザードマップ

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などによりため池の災害が発生しています。また、災害には至らなくても、非常に危険な状態になり、下流域の住民の方が避難を余儀なくされる事態が発生しています。

ため池ハザードマップは、大地震により堤体が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害の想定と避難対策等の情報をわかりやすく提供することを目的に作成したもので

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路を実際に歩いて確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたときに自主的避難を心がけましょう。
- みなさんが災害について関心をもち、いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。
- マップの範囲外となる地域避難所については「宇佐市・大雨洪水・土砂災害・津波防災マップ」にて日頃から確認しておいてください。

大峰池 諸元	
堤 長	74.5m
堤 高	12.9m
貯水量	15,000m ³

岳首池 諸元	
堤 長	70.0m
堤 高	7.50m
貯水量	19,300m ³

記号凡例	
洪水到達時間	↑
収容避難所	■
自主避難場所	□
避難方向	→
土石流危険箇所	■■■
急傾斜地崩壊危険箇所	■■■■■

浸水深 浸水の目安	
5.0m以上	2階の軒下以上が浸水する程度
5.0m未満	2階の軒下まで浸水する程度
2.0m未満	1階の軒下まで浸水する程度
1.0m未満	大人の腰までかかる程度
0.5m未満	大人の膝までかかる程度

5.0m以上 1.0~2.0m未満 0.01~0.5m未満
2.0~5.0m未満 0.5~1.0m未満

※この基図は、水土里情報システム基盤図(H21.3作成)を複製したものである。

宇佐市 大峰池、岳首池 ハザードマップ

大峰池

岳首池

1:6,000

■ 避難情報の伝達方法 ■

